

第4回佐賀駅前広場整備等検討会議

■日 時：令和2年3月19日（木）13：30～15：00

■場 所：佐賀市役所2階 庁議室

■参加者：（委員）荒牧軍治，香月道生（欠），有馬隆文，牛島英人，江口英樹，木下博幸
柴田久（欠），柴戸晶子（欠），富吉賢太郎，中島英明，野田美香（欠），
馬場久雄，福島龍三郎（欠），福成有美，藤本健児（代），真島和博，
リ・フォン・チュウ（欠）

（アドバイザー）

西村浩

（事務局：佐賀駅周辺整備構想推進室）

白井誠，池田剛，西洋徳，志津田誠，園田卓司

武藤英海，百崎哲也，干潟隆雄，木島慎治，坂井元，武富将志，江口弘行，
星下努

1. 開会
2. 挨拶
3. 前回会議振り返り
4. 検討事項

- ・前回検討会議を踏まえた考え方
- ・整備計画（案）

5. 意見交換

○委員

- ・あまり広くない駅前広場をどのように広く見せるかといった視点も大切だと思う。駅前広場とあわせて南側の県道部分を一体的に整備し、駅前交番横の公園が駅南の入り口となるよう検討してはどうか。
- ➡佐賀駅周辺に集まる人の流れを南側へ誘導することはこの事業の目的の一つであり、その点で言えば駅前広場と駅前交番横公園を結ぶ道路（県道）の設えをどうするかは大変重要なことだと認識している。【市】
- ・イメージ図にシンボリックな施設として石積の絵が描かれているが、これが本丸（城内）の入り口をイメージできるようなものになればよいと思う。

○委員

- ・現状では、ホテルルートイン方向（県道西側）へなかなか人が流れていかない状況だと思うが、その対策などは考えているのか。
- ➡駅の南北両方とも道路の西側を歩かせることが一つの課題となっている。北口はスクランブル交差点化、南口は駅前広場からルートイン側へ横断歩道を設置することで、構造的に人が流れる仕組みをつくりたいと考えている。【市】
- ・広場活用のシミュレーションなども行ったほうが良いと思うが。
- ➡今後、駅前広場で実際に活動したい人などに意見を聞く場を設けていきたい。その中でど

のような活用ができるのかについても検討していきたい。【市】

○委員

・植栽（特に落葉樹が多い）計画が気になる。この広場は市とJRで協定を締結し管理することになるが、維持管理の負担が大きい。地域ボランティアなどで管理していく方法もあるとは思いますが限界がある。

➡駅前広場で得た収入を管理に回すような仕組みづくりを考えていきたい。芝生広場などは市民・利用者がみんなで張り替えるといったことも考えていいと思う。【市】

○アドバイザー

・フラットな芝生広場は自転車が乱横断し表面が荒れてしまう恐れがある。

➡南口の交流広場には自転車が乗入れできないような設えを検討している。また周知なども行っていきたい。（特に芝生広場への乗り入れができないようにベンチや植栽をうまく配置したい。）【市】

・水景施設は、佐賀のイメージを考えたときにやはりクリークが想像できるので、水盤のようなものを検討してもよいと思う。

➡水景施設は、次年度以降の検討課題としており、有識者や市民の意見を聞きながら引き続き検討していきたい。【市】

○委員

・防犯の観点で言えば、ここは意外と周りの店舗が広場側に開いておらず、人の目が届きにくい場所だと思う。人の目を増やす自然監視性ということも念頭に置きながら整備内容を検討したほうが良い。

○委員

・水については「見せる水の風景」よりも「触れる水の風景」のほうが今は人気があるように思う。干潟よか公園のじゃぶじゃぶ池などはかなり人気があり、遠方からも多くの方が訪れていると聞いている。

・井戸などを用いた水景なども検討できないか。（井戸の水位はどれくらいか）

➡井戸の水位は5～6mぐらいではないかと思う。信州の松本市では井戸を用いた水景施設なども整備されている。【市】

○委員

・今回の整備イメージは非常に美しいが、“佐賀らしさ”といった点では少しわかりにくい感じがする。バルーンのモニュメントなどを安直に置くことはよくないとは思いますが、佐賀といえば「水」、「緑」、「歴史・文化」などがイメージされやすいので、駅前交番横の公園に置いてあるブロンズ像などがここにもあると分かりやすいのかなと思う。

・広さと居心地の良さがの兼ね合いが大切だと思う。

○委員

・コムボックスは東側（駐車場側）がメインの入り口となる。この広場を人が滞留する場所とするには東側（駐車場側）と西側（広場側）を結ぶ道路の設えが重要になると思う。

6. 今後のスケジュール

7. 閉会